



DIGNO[®] WX

クイックスタートガイド 保証書

2022年1月第1版
5KKTEB1092RX- 0122SZ



管理用コード

ごあいさつ

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に『クイックスタートガイド』（本書）、『ご利用にあたっての注意事項』をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。



memo

- ◎ 電池は本製品に内蔵されています。
- ◎ 本文中で使用しているイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

- 本体
- ACアダプタ
- ご利用にあたっての注意事項
- クイックスタートガイド(本書)
- SD取り出しピン(試供品)

本書の表記方法について

■ 項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を次のように表記しています。

表記例	意味
ホーム画面を上をスライド／フリック→[] →[ストレージ]	ホーム画面を上をスライド／フリックし、「  (設定)」をタップします。続けて「ストレージ」をタップします。
スリープモード中に  (電源ボタン)	スリープモード中に  (電源ボタン)を押します。

- タップとは、ディスプレイに表示されているボタンやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です。

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

本書に記載されているイラストや画面は、実際のイラストや画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

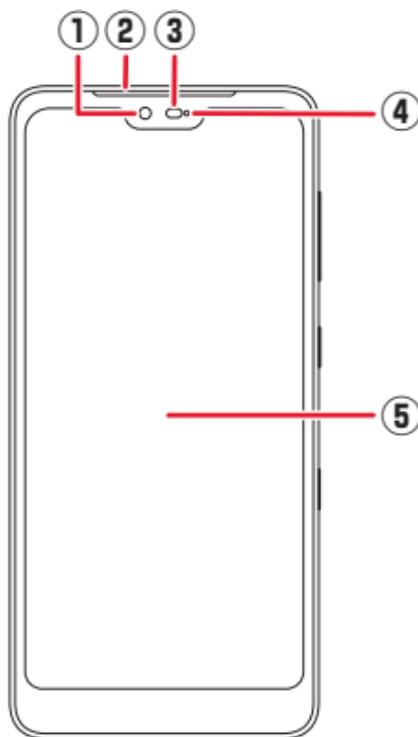


memo

- ◎ 本書では縦表示からの操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。
- ◎ 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
- ◎ 本書では「microSD™メモ리카ード(市販品)」、「microSDHC™メモ리카ード(市販品)」および「microSDXC™メモ리카ード(市販品)」の名称を、「microSDメモ리카ード(市販品)」もしくは「microSD」と省略しています。
- ◎ 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。

ご利用の準備

各部の名称と機能



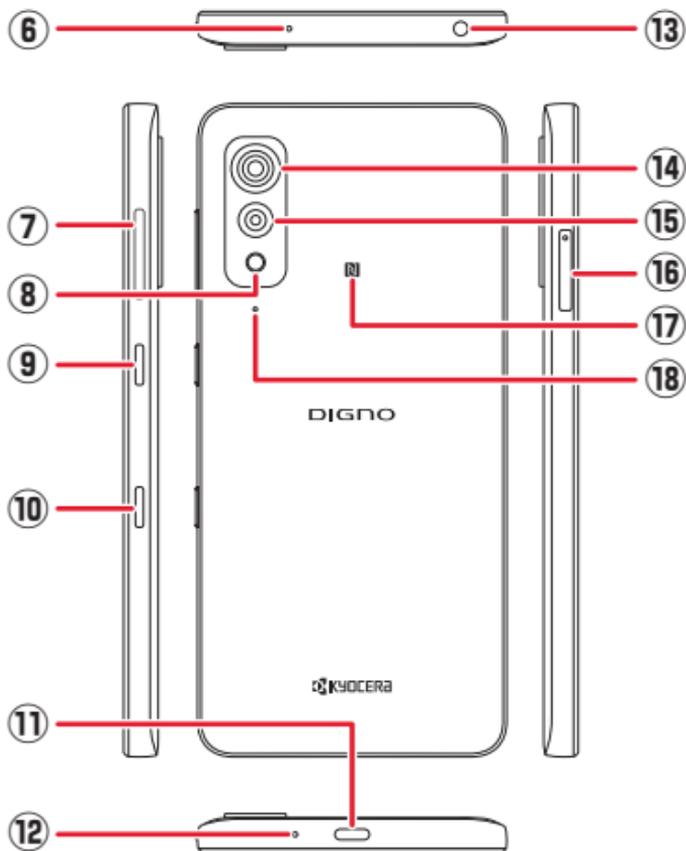
- ① フロントカメラ
- ② スピーカー
音楽や動画などの音声が聞こえます。
- ③ 明るさ／近接センサー
周囲の明るさを検知したり、物体が接近していることを検知するセンサーです。

④ 通知／充電ランプ

充電中やメールの着信時に点灯／点滅してお知らせします。

充電ランプの色	端末の状態
赤の点灯	充電中(電池残量15%未満)
橙の点灯	充電中(電池残量15%以上90%未満)
緑の点灯	充電中(電池残量90%以上)および充電完了

⑤ ディスプレイ



⑥ サブマイク

⑦ ◀ ▶ 音量上/下ボタン

音量を調節します。

⑧ モバイルライト

⑨ 電源ボタン

電源オン/オフやスリープモードの移行/解除などに使用します。

⑩ カスタマイズボタン

⑪ 外部接続端子

付属のACアダプタや外部接続機器などの接続時に使用しません。

⑫ マイク

⑬ 3.5mmイヤホン端子

イヤホンを接続します。

⑭ ワイドカメラ

撮影範囲の広い写真や動画を撮ります。

⑮ アウトカメラ

写真や動画を撮ります。

⑯ カードスロットキャップ

⑰ NFC位置

⑱ 気圧調整穴



memo

- ◎ 本製品の外装ケースは取り外せません。外装ケースを無理に取り外そうとすると、破損や故障の原因となります。
- ◎ 本製品の電池は内蔵されており、お客様による取り外しはできません。強制的に電源を切り再起動する場合は、「強制的に電源を切り再起動する」(▶P.18)をご参照ください。

microSDメモリカードを取り付ける／取り外す

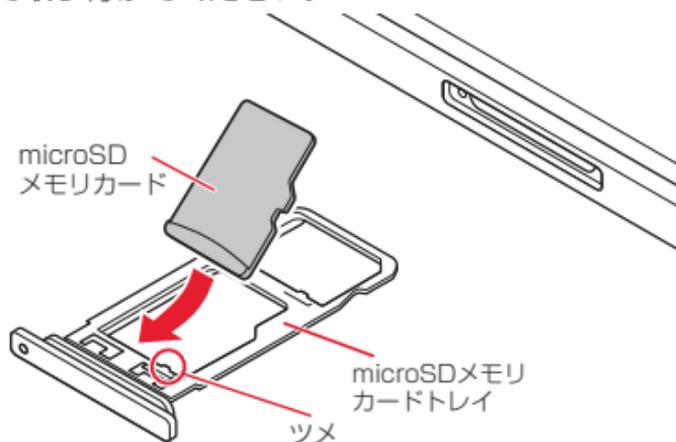
microSDメモリカードの取り付け／取り外しは、同梱のSD取り出しピン(試供品)をご使用ください。

microSDメモリカードを取り付ける

- 1** SD取り出しピン(試供品)の先端をカードスロットキャップの穴に差し込み、ゆっくりと水平に押し込む
 - ・microSDメモリカードトレイが押し出されます。
- 2** 本製品からmicroSDメモリカードトレイを取り外す
 - ・ゆっくりと水平に引き出してください。

3 microSDメモ리카ードを取り付ける

- microSDメモ리카ードの向きに注意してください。端子面が下になるように取り付けてください。誤った向きで取り付けた場合、microSDメモ리카ードが落下したり、本製品の破損・故障の原因となることがあります。
- microSDメモ리카ードがmicroSDメモ리카ードトレイから浮かないように、しっかりと取り付けてください。
- microSDメモ리카ードトレイのツメ部分が破損しないように、microSDメモ리카ードを矢印の方向に滑り込ませて取り付けてください。



※ 本製品はSIMカードに対応していません。microSDメモ리카ードトレイにSIMカードを取り付けても、ご使用いただけませんのでご注意ください。

4 本体にmicroSDメモリカードトレイを差し込む

- ゆっくりと水平に差し込んでください。
- microSDメモリカードトレイの向きに注意してください。誤った向きで差し込んだ場合、microSDメモリカードが落下したり、本製品の破損・故障の原因となることがあります。

5 カードスロットキャップを取り付ける

- カードスロットキャップをしっかりと押し、カードスロットキャップが本体から飛び出していないことを確認してください。



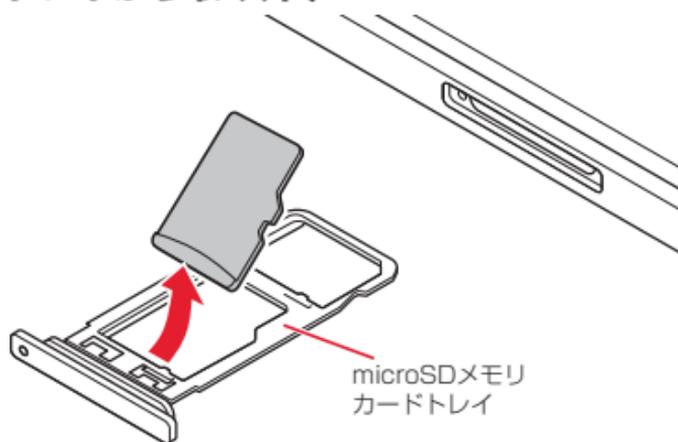
memo

- ◎ microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとする则取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

microSDメモリカードを取り外す場合は、microSDメモリカードのデータが壊れる(消去される)ことを防ぐため、必ず以下の操作を行ってください。

- 1** ホーム画面を上スライド／フリック→[]→[ストレージ]→[SDカード]の[▲]
- 2** SD取り出しピン(試供品)の先端をカードスロットキャップの穴に差し込み、ゆっくりと水平に押し込む
・ microSDメモリカードトレイが押し出されます。
- 3** 本製品からmicroSDメモリカードトレイを取り外す
・ ゆっくりと水平に引き出してください。
- 4** microSDメモリカードをmicroSDメモリカードトレイから取り外す



5 本体にmicroSDメモ리카ードトレイを差し込む

- ゆっくりと水平に差し込んでください。
- microSDメモ리카ードトレイの向きに注意してください。誤った向きで差し込んだ場合、本製品の破損・故障の原因となることがあります。

6 カードスロットキャップを取り付ける

- カードスロットキャップをしっかりと押し、カードスロットキャップが本体から飛び出していないことを確認してください。



memo

- ◎ microSDメモ리카ードの端子部には触れないでください。
- ◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモ리카ードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

充電する

お買い上げ時には、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。赤色や橙色に点灯していた充電ランプが緑色に変わったら、90%以上充電が完了です。

初めて本製品の電源を入れるときは、 (電源ボタン) を5秒以上長押ししてください。その後は、十分に充電してご使用ください。



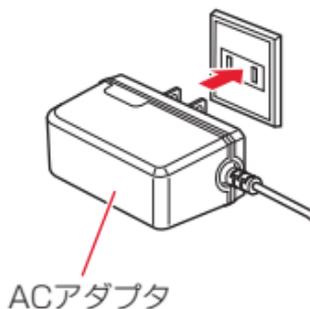
memo

- ◎ 充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- ◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなる場合があります。
- ◎ 付属のACアダプタを接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります、電池のもちが悪くなります。
- ◎ 周囲温度や本製品の温度が、極端に高温や低温になっている場合には、充電を始めても途中で停止することがあります。できるだけ常温の環境で充電してください。
- ◎ 接続端子に金属製のアクセサリや導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。

ACアダプタを使って充電する

付属のACアダプタを接続して充電する方法を説明します。

- 1 付属のACアダプタの電源プラグをコンセント (AC100V~240V) に差し込む**

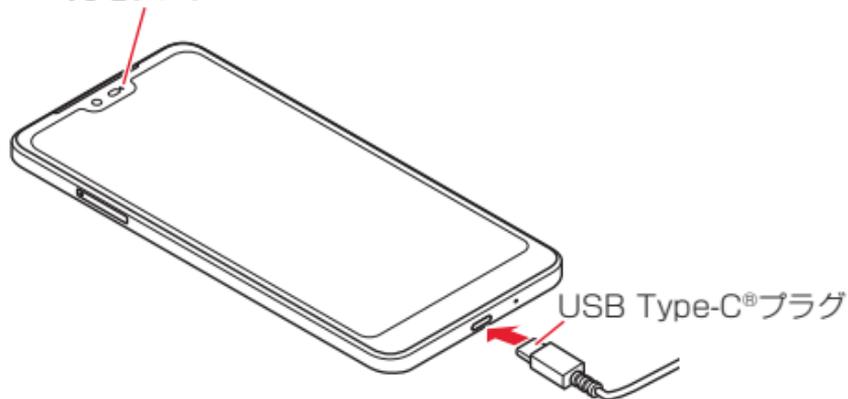


2 付属のACアダプタのUSB Type-C®プラグを外部接続端子に差し込む

本製品の充電ランプが赤色や橙色に点灯したことを確認してください。本製品の電源が入っている場合は、ステータスバーに「」が表示されます。

90%以上充電すると、充電ランプの色が緑色に変わります。

充電ランプ



3 充電が完了したら、外部接続端子からプラグを
まっすぐに引き抜く

4 付属のACアダプタの電源プラグをコンセントか
ら抜く



memo

- ◎ 外部接続端子に付属のACアダプタを接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
- ◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電ランプがすぐに点灯しないことがあります。充電は開始しています。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 通知ランプが点灯するまで (電源ボタン) を長く押す

スタート画面が表示されます。

- ・初めて本製品の電源を入れるときは、 (電源ボタン) を5秒以上長押ししてください。その後は、十分に充電してご使用ください。
- ・初めて電源を入れたときは、初期設定が起動します。必要に応じて設定を行ってください。



memo

- ◎ 電源を入れてから各種ロゴが表示されている間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。
- ◎ 画面の点灯中に  (電源ボタン) を押すか、一定時間操作しないで画面が消灯すると、スリープモードに移行します。

電源を切る

1 (電源ボタン) を1秒以上長く押す

2 [電源を切る]

強制的に電源を切り再起動する

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切り再起動することができます。

- 1**  (電源ボタン) と  (音量上ボタン) を同時に
11秒以上長く押す



memo

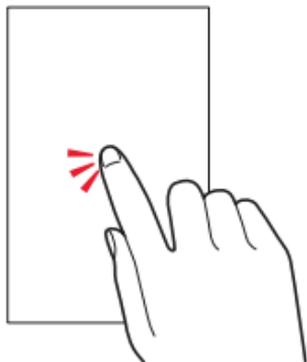
- ◎ 強制的に電源を切り再起動すると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外には行わないでください。

タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

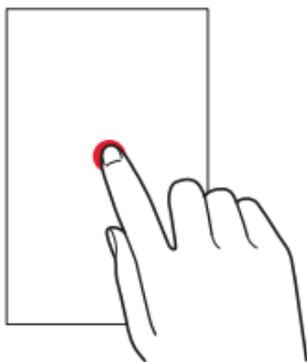
■ タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。



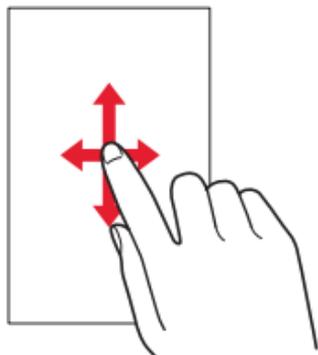
■ ロングタッチ

項目やボタンなどに指を触れた状態を保ちます。



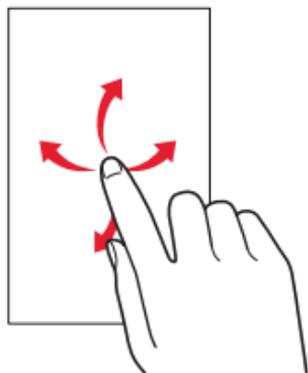
■ スライド／スワイプ

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、上下左右へなぞります。



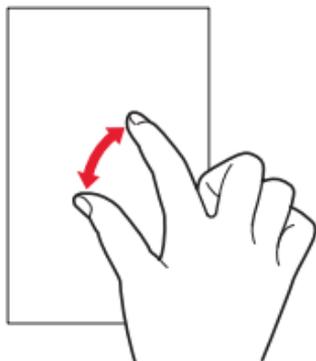
■ フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。



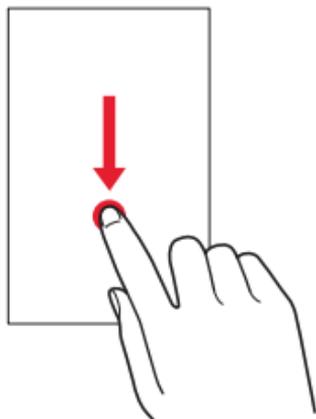
■ ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり(ピンチアウト)、閉じたり(ピンチイン)します。



■ ドラッグ

画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。



初期設定を行う

お買い上げ後、初めて本製品の電源を入れたときは、画面の指示に従って言語やWi-Fi[®]、Google アカウントなどの設定を行ってください。

■ Google アカウントの設定について

Google アカウントの設定を行うと、「Gmail」、「Play ストア」などの Google 社のアプリを利用できます。

Wi-Fi®を設定する

家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi®)環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットに接続できます。

1 ホーム画面を上をスライド／フリック→

2 [ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]→
「」をタップして「」にする

Wi-Fi設定画面が表示され、利用可能なWi-Fi®ネットワークが一覧表示されます。

3 接続するWi-Fi®ネットワークを選択

- セキュリティで保護されたWi-Fi®ネットワークに接続する場合は、パスワード(セキュリティキー)*を入力し、「接続」をタップします。

※ パスワード(セキュリティキー)は、アクセスポイントで設定されています。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 接続が完了すると、ステータスバーに「」が表示されます。

スタート画面について

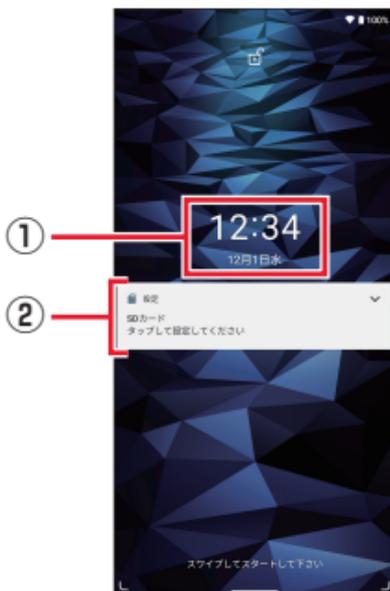
スタート画面は、電源を入れたときやスリープモードを解除したときに表示されます。

スタート画面からホーム画面を表示する

スタート画面が表示されたときは、次の操作でホーム画面を表示できます。

1 画面を上にスライド／フリック

ホーム画面が表示されます。またはスリープモードに移行する前の画面が表示されます。



《スタート画面》

① 時計表示

② 通知表示

- 通知をダブルタップすると通知されたアプリを起動します。

基本操作

ホーム画面を利用する

ホーム画面は、複数の画面で構成されており、左右にスライド／フリックすると画面を切り替えることができます。



《ホーム画面》

- ① ステータスバー
- ② フォルダ
- ③ クイック起動エリア

スクリーンショットを撮影する

⏻ (電源ボタン) と ◀▶ (音量下ボタン) を同時に1秒以上長く押し、現在表示されている画面を画像として保存(スクリーンショット)できます。



memo

- ◎ スクリーンショットを行った画像は、内部ストレージに保存されます。保存された画像は「フォト」、「Files」などで確認できます。
- ◎ アプリや機能によってはスクリーンショットが動作しない場合があります。

音量の設定をする

メディアの音量・通知の音量・アラームの音量を設定できます。

メディアの音量を設定する

- 1 ◀ (音量上ボタン) または ▶ (音量下ボタン) を押す
 - ・メディアの音量の音量調節バーが表示されます。
- 2 ◀ (音量上ボタン) または ▶ (音量下ボタン) を押して、音量を調節



memo

◎ スライダを上下にドラッグしても、音量を調節できます。

メディアの音量・通知の音量・アラームの音量を設定する

- 1 ◀ (音量上ボタン) または ▶ (音量下ボタン) を押す
 - ・メディアの音量の音量調節バーが表示されます。
- 2 [≡]
- 3 音量調節バー→スライダを左右にドラッグして、音量を調節→[完了]
 - ・「詳細」をタップすると通知の音量を設定できます。

ホーム画面を設定する

ホーム画面の各種表示を設定できます。

1 ホーム画面→空きスペースをロングタッチ

ホーム画面の設定画面が表示されます。

2

ホームの設定	ホーム画面に Google アプリおよび通知ドットを表示したり、アイコンを追加します。
ウィジェット	ホーム画面にウィジェットを追加します。
壁紙	ホーム画面やスタート画面の壁紙を変更します。

3 各項目を設定

アプリを起動する

アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用します。

1 ホーム画面→起動するアプリ／フォルダをタップ

- フォルダをタップした場合は、フォルダ内のアプリ一覧から起動するアプリをタップします。
- ホーム画面を上をスライド／フリックすると、アプリ一覧画面が表示されます。
アプリ一覧画面で起動するアプリをタップしても、アプリを起動できます。

通知パネルについて

1 ステータスバーを下にスライド

通知パネルが表示されます。

- 通知パネルを上をスライドすると通知パネルを隠します。



① ON/OFF設定アイコン

よく使う機能のオン/オフを設定します。

通知パネルを下にスライドすると、表示されていないアイコンや画面の明るさ調節スライダー、設定メニューアイコンが表示されます。

② お知らせ(通知)エリア

本製品の状態やお知らせの内容を確認できます。情報によっては、タップすると対応するアプリが起動します。



memo

- 通知を個別に消去するには、消去したい通知を左右にフリックします。

機内モードを設定する

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能(無線LAN(Wi-Fi[®])機能、Bluetooth[®]機能)がすべてオフになります。

- 1** ホーム画面を上スライド／フリック→→
[ネットワークとインターネット]→「機内モード」
のをタップしてにする

機内モードが設定されると、ステータスバーに「✈」が表示されます。



memo

- 機内モードをオンに設定すると、メールの送受信、無線LAN(Wi-Fi[®])機能、Bluetooth[®]機能による通信などもオフにします。
- 機内モードがオンの場合でも無線LAN(Wi-Fi[®])／Bluetooth[®]機能をオンにすることができます。航空機内や病院などご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。

機能設定

設定メニューから各種機能を設定、管理します。

1 ホーム画面を上をスライド／フリック→[]

設定メニューが表示されます。

設定メニュー項目一覧

項目	設定内容
ネットワークとインターネット	Wi-Fi [®] や機内モードなどネットワークについて設定します。
接続済みのデバイス	本製品と接続する機器および接続していた機器について設定します。
アプリと通知	最近開いたアプリの表示、アプリの名前やバージョン、メモリの使用状況などの確認、有効／無効の設定、アンインストールなどアプリに関する設定や、通知のブロックやスタート画面に表示する通知など、通知に関する設定を行います。
電池	電池残量や使用量を表示します。また、バッテリーセーバーなどの設定ができます。
ディスプレイ	明るさや画面の自動回転、フォントなど、画面表示に関する設定を行います。
音	サイレントモードや音量の調整、操作音など、音に関する設定を行います。
カスタマイズボタン	カスタマイズボタンを押したときの起動動作に関する設定を行います。

項目	設定内容
ストレージ	本製品本体内やmicroSDメモ리카ードのメモリ容量の確認などができます。
プライバシー	プライバシーに関する設定を行います。
位置情報	位置情報に関する設定を行います。
セキュリティ	セキュリティに関する設定を行います。
アカウント	オンラインサービスのアカウント管理や、データ同期に関する基本設定を行います。
ユーザー補助	表示される文字サイズなど、ユーザー補助サービスの設定を行います。
Digital Wellbeing と保護者による 使用制限	アプリの利用時間の確認やアプリの使用時間の設定などができます。
Google	Google のアカウントおよびサービスに関する情報の確認や設定の変更などができます。
システム	表示する言語や文字入力、日付と時刻について設定します。また、Google サーバーへのバックアップの設定や本製品の初期化を行ったり、本製品の情報を確認できます。システムのアップデートもここから行います。
デバイス情報	本製品の情報に関する確認やデバイス名の変更ができます。

バッテリーセーバーの設定をする

本製品のパフォーマンスとバックグラウンドデータを制限します。

1 ホーム画面を上にスライド／フリック→[]→
[電池]→[バッテリーセーバー]

2 [今すぐONにする]

バッテリーセーバー機能が起動します。ステータスバーに「」が表示されます。



memo

- ◎ 同期を使用するメールやメッセージなどのアプリは起動しないと更新されない場合があります。
- ◎ バッテリーセーバーは、端末の充電中は自動的にOFFになります。

その他

お手入れのしかた

本製品の汚れは下記の手順で泡ハンドソープやアルコールなどで拭きとることができます。

■ 泡ハンドソープ／泡ボディソープを使用する場合

1 ケーブル類をすべて取り外して、本製品の電源を切る

2 柔らかい布に泡ハンドソープ／泡ボディソープを付けて本製品を手早く拭き取る

マイク・スピーカー・3.5mmイヤホン端子・外部接続端子などの穴部に泡ハンドソープなどが入り込まないように注意してください。

3 泡が完全になくなるまで洗い流す

- やや弱めの水道水(5℃～30℃)ですすいでください(6リットル／分以下)。
- マイク・スピーカー・3.5mmイヤホン端子・外部接続端子などの穴部を約30秒洗い流します。
- 泡が残っていると故障の原因になりますので、泡がなくなるまでよく洗い流してください。

4 マイク・スピーカー・3.5mmイヤホン端子・外部接続端子などの穴部の水抜きを十分に行う

5 十分に乾燥させて、水滴が残っていないことを確認する

- 本体が濡れている状態では絶対に充電しないでください。
- 水抜き、乾燥について詳しくは「水に濡れたときの水抜きについて」(▶P.39)をご参照ください。

■ アルコールなどを使用する場合

1 ケーブル類をすべて取り外して、本製品の電源を切る

2 糸くずの出ない柔らかい布にイソプロピルアルコール(99.7%以下)やエタノール(99.5%以下)、次亜塩素酸ナトリウム(1.0%以下)を少量含ませ、本製品を拭き取る

マイク・スピーカー・3.5mmイヤホン端子・外部接続端子などの穴部に泡ハンドソープなどが入り込まないように注意してください。

※ 本製品の有する性能は試験環境下での確認であり、無故障を保証するものではありません。

イソプロピルアルコール(99.7%以下)、エタノール(99.5%以下)、次亜塩素酸ナトリウム(1.0%以下)は消毒用として販売されているものを、それぞれの取扱説明書をよく読んでお使いください。誤った使いかたは人体への影響や引火などの恐れがあります。

■ 注意事項

- 市販のアクセサリー商品(端末カバー、ケースなど)は取り外してください。なお、市販のアクセサリー商品の取り扱いについては、各商品の注意事項をご確認ください。
 - ※ 市販の保護シートは剥がれる場合があります。
- 耐水圧設計ではありませんので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- お手入れの際はカードスロットキャップがしっかり閉じていることを確認してください。
 - ※ 国内メーカー製の泡タイプのハンドソープ／ボディソープをご使用ください。種類の異なる泡ハンドソープ／泡ボディソープは混ぜないでください。
キッチン用・業務用・無添加・アルカリ性のハンドソープ、業務用・無添加・アルカリ性のボディソープや、石けん、洗剤、入浴剤、シャンプー、リンス、洗顔料、メイク落とし、歯磨き粉などを使用しないでください。
付着した場合にはすぐに水で洗い流してください。
本製品の有する性能は試験環境下での確認であり、無故障を保証するものではありません。

水に濡れたときの水抜きについて

本製品に水滴が付着したまま使用すると、マイク・スピーカー・3.5mmイヤホン端子・外部接続端子などに水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなったり、衣服やかばんなどを濡らしてしまうことがあります。また、隙間から水分が入り込んでいる場合がありますので、下記の手順で本製品の水分を取り除いてください。

- 1 本製品表面の水分を繊維くずの出ない乾いた清潔な布などでよく拭き取る**

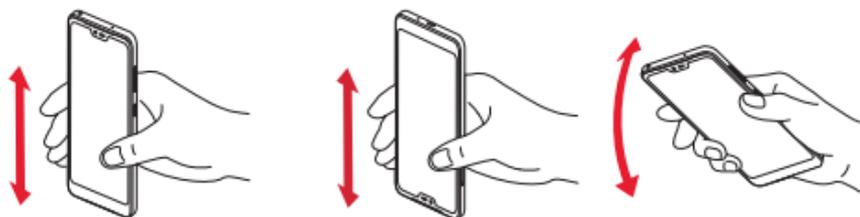


2 振りかたについて

①本製品をしっかり持ち、水が出なくなるまで本製品を矢印方向に振ります。

※ 振る際は周りに危険がないことを確認してください。

※ 本製品が飛び出さないように、しっかりと持ち水抜きをしてください。



マイク・外部接続端子側：
20回以上

スピーカー・3.5mmイヤホン端子側：
20回以上

②出てきた水分を拭き取ります。

※ マイク・スピーカー・3.5mmイヤホン端子・外部接続端子・音量ボタン・電源ボタン・カスタマイズボタン周辺は特に水が抜けにくいいため、押し付けるように各部分を下側にして拭き取ってください。

③乾いたタオルや布の上に置き、常温でしばらく放置します。

- 3** 繊維くずの出ない乾いた清潔な布などに本製品を軽く押し当て、マイク・スピーカー・3.5mmイヤホン端子・外部接続端子・音量ボタン・電源ボタン・カスタマイズボタン周辺などの隙間に入った水分を拭き取る



- 4** 本製品から出た水分を十分に取り除いてから乾いたタオルや布の上に置き、常温で1時間以上放置して乾燥させる

上記手順を行った後でも、本製品に水分が残っている場合があります。濡れて困るもののそばには置かないでください。また、衣服やかばんなどを濡らしてしまうおそれがありますのでご注意ください。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください	参照
電源が入らない	内蔵電池は充電されていますか？	P.13
	☐  (電源ボタン)を通知ランプが点灯するまで長く押ししていますか？	P.17
充電ができない	付属のACアダプタは正しく接続されていますか？	P.14
	本体または電池温度が高温または低温になっていませんか？ 温度によって充電を停止する場合があります。	P.13
	周辺機器(付属のACアダプタ)で充電をしていますか？	P.14
操作できない／画面が動かない／電源が切れない	☐  (電源ボタン)と☐  (音量上ボタン)を同時に11秒以上長く押すと強制的に電源を切り再起動することができます。	P.18
電源が勝手に切れる	内蔵電池は十分に充電されていますか？	P.13
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	内蔵電池は十分に充電されていますか？	P.13
「  」(圏外)が表示される	電波の弱いところにいませんか？	—
ボタン／タッチパネルの操作ができない	電源は入っていますか？	P.17
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.17

こんなときは	ご確認ください	参照
画面が暗い	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって画面の輝度を落とす場合があります。	—
充電していただきなどに表示された	電池残量がほとんどありません。	P.13
使用できる時間が短い	十分に充電されていますか？ ・赤色や橙色の充電ランプが緑色に変わるまで、充電してください。	P.13
	内蔵電池が寿命となっていないか？	—
	「  」(圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？	—
	使用していないアプリや機能を終了・停止してください。	—

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

主な仕様

主な仕様につきましては、以下のホームページをご参照ください。
<https://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/office/phone/lineup/kc-s303/>

お問い合わせ先番号

- ・修理に関しましては、購入頂いた販売店へお問い合わせください。
- ・商品に関するお問い合わせ・通信機器操作方法に関しましては以下までお問い合わせください。

京セラ通信サポートセンター

0120-993-950 (通話料無料)

受付時間：9:00～17:00 (平日)

- ・年末年始、ゴールデンウィーク、夏季休暇、設備点検日などは休業する場合がございます。
- ・受付時間を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ・IP電話 (050-XXXX-XXXX) からは接続できない場合があります。

■ホームページからのお問い合わせ

機器に関するご相談、お問い合わせ

京セラホームページ

<https://www.kyocera.co.jp/>



キケン!
水ぬれ充電

濡れた状態での充電は、
異常な発熱・焼損などの原因となり
大変危険です。

製造元：京セラ株式会社